

『北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要』 卷頭言

学 長 三 浦 正

太平洋戦争終了後、1947年3月31日法律26号「学校教育法」の施行による「新制大学」発足と共に、新たに短期大学も発足することになった。学校法人北陸学院は、この期を逃さず短期大学設立の準備に入り、1950年に「北陸学院保育短期大学」を設立した。その後1963年には名称を「北陸学院短期大学」と改め、保育、栄養の二科編成となり、さらに1964年に英語科を、1968年に教養科を、そして1999年に人間福祉学科を増設した。

上記の北陸学院短期大学がいわゆる『紀要』を初めて発刊したのは、現在を去ること43年前の1965年10月のことである。その年、学校法人北陸学院は創立80周年目にあっていた。

『北陸学院短期大学紀要』は、1971年発行の第3号までは北陸学院短期大学保育科の発行となっている。しかし、その執筆陣は、保育科教員に限らず、それまでに増設された栄養科、教養科の教員にも及んでいる。この『紀要』は、1971年の第3号以降、毎年発行を継続し、2008年には第40号に至った。

このたび、2008年度から一学部二学科（人間総合学部／幼児児童教育学科・社会福祉学科）構成の北陸学院大学が発足し、従来の北陸学院短期大学は二学科（食物栄養学科・コミュニティ文化学科）となり、名称を変更し北陸学院大学短期大学部となった。新設の大学および改組の短期大学部には他の大学、研究機関等で研究・教育に実績のある、多くの教員を迎えることができた。

現在、学校法人北陸学院は、大学、短期大学以外に二つの幼稚園（第一幼稚園・扇が丘幼稚園）、北陸学院小学校、北陸学院中学校、そして北陸学院高等学校を設置している。これらの教育機関に働く教育者、研究者も多い。

このたびの『北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要』創刊にあたっては、本法人下にある全ての教育機関の教職員にも投稿を呼びかけた。これによって本学の『研究紀要』は、教職員諸氏の協力のもとに、その研究内容に従来にはない広がりがあり、さらに深みが加わったものとなったことを確信している。これを機に、教職員諸氏の今後さらなる研鑽を期待するものである。

（みうら・まさし）